

CA Mediation Manager および CA Mediation Manager for Infrastructure Management

インストール ガイド

CA Mediation Manager リリース 2.2.2/CA Mediation Manager for
Infrastructure Management 2.0、リリース 2.2.2



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複写、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、

(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供: アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2013 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA Technologies 製品リファレンス

このマニュアルが参照している CA Technologies の製品は以下のとおりです。

- CA Mediation Manager
- CA Mediation Manager for Infrastructure Management 2.0
- CA eHealth
- CA Infrastructure Management
- CA Spectrum

CA への連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: はじめに	7
概要.....	7
アーキテクチャ.....	8
コンポーネントの概要.....	9
 第 2 章: CA Mediation Manager のインストール	 13
システム要件.....	13
前提条件.....	14
インストール前のセットアップ	15
CA Mediation Manager のインストール	17
サービスの開始と停止	20
UNIX	20
Windows	21
CA Mediation Manager のアンインストール.....	22
CA Mediation Manager のアップグレード.....	24
 第 3 章: デバイス パックのインストール	 27
デバイス パックのインストール	28
CA eHealth 認証のインストール	30
デバイス パックのアンインストール	32
デバイス パックのアップグレード	33
 第 4 章: CA Mediation Manager for Infrastructure Management 2.0、リリース	 35
2.2.2 用デバイス パックのインストール、アンインストール、アップグレード	35
前提条件.....	35
アップグレードに関する考慮事項.....	36
デバイス パックのインストールまたはアップグレード	36
デバイス パックのアンインストール	39

第 1 章: はじめに

注: この章で示される情報は CA Mediation Manager のみに適用されます。

概要

CA Mediation Manager は、モバイルワイヤレス、光ファイバスイッチ、無線アクセス、3G/4G 音声、およびデータなどの非 SNMP ベースのデバイスのパフォーマンスを監視します。CA Mediation Manager は、データにアクセスするための広範囲のプロトコル（たとえば、SOAP、SSH、XML、SQL、JMS、SFTP、および HTTP）をサポートします。

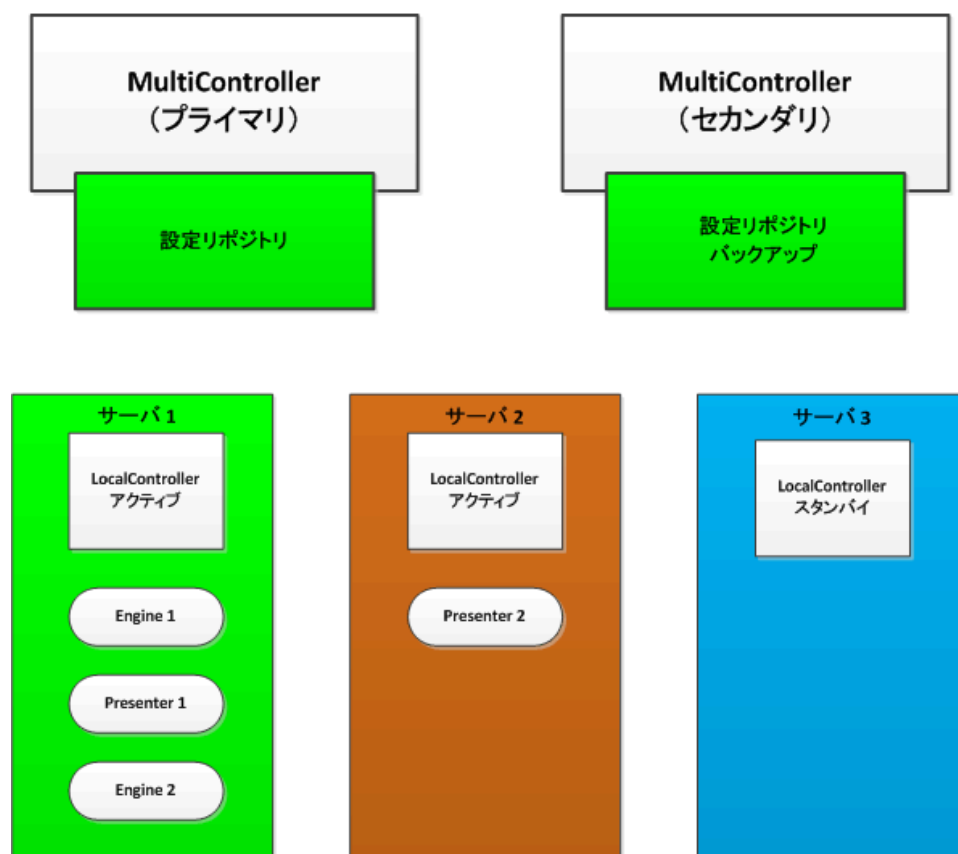
CA Mediation Manager は、プロトコル（プラグイン）サポートおよび新しい環境への迅速な適応を可能にする拡張性も提供します。また、CA Mediation Manager はすべてのプラットフォームにわたって移植可能です。

アーキテクチャ

CA Mediation Manager は、2 つの主要コンポーネントおよび 2 つのサブコンポーネントから構成されています。 主要コンポーネントは MultiController (MC) および LocalController (LC) です。

サブコンポーネントは Engine および Presenter です。

以下の図は一般的なアーキテクチャを示しています。



アーキテクチャには、Generic Executor および Delivery Service というコンポーネントも含まれます。これらのコンポーネントは上の図では表示されていませんが、このガイドの後半で説明します。

コンポーネントの概要

CA Mediation Manager インストール パッケージは、MultiController、LocalController、および Web コンポーネントをインストールします。

CA Mediation Manager インストール パッケージは、以下のコンポーネントもインストールします。

- Delivery Service (LocalController の一部)
- Generic Executor (GE)

デバイス パックをインストールすると、Engine および Presenter のサブコンポーネントがインストールされます。

注: 特定のデバイス パックのインストールの詳細については、CAMM_HOME 下の DpConfig フォルダで「デバイス パック ガイド」を参照してください。CAMM_HOME は CA Mediation Manager がインストールされるディレクトリです。

MultiController

クラスタ内に、プライマリ 1 つ、セカンダリ 1 つの 2 つまでの MultiController を展開できます。クラスタあたり少なくとも 1 つの MultiController を展開します。MultiController はユーザのクラスタ環境で以下のアクションを実行します。

- リモート サーバ上にある LocalController コンポーネントからのハートビート メッセージを監視します。
- クラスタの一元化されたライセンス サーバとして機能します。
- クラスタ内のコンポーネントの集中型設定ファイルを格納します。

LocalController

サブコンポーネント (Engine または Presenter) が存在するクラスタ内の各物理サーバに 1 つの **LocalController** をインストールします。**LocalController** は以下のアクションを実行します。

- サーバにインストールされるサブコンポーネント用の通信メカニズムを提供します。
- ローカルサーバ上のサブコンポーネントのハートビートメッセージを監視し、障害が発生した場合、自動的にサブコンポーネントを再起動します。
- 配信サービスを使用して、**Engine** サブコンポーネントからの出力を処理します。このサービスは、ローカルまたはリモート **Presenter** サブコンポーネントに圧縮して暗号化された形式で XML ドキュメントを配信します。

Generic Executor

クラスタ内のコンポーネントはすべて、通信および実行用の共通の機能セットを共有します。**Generic Executor** (GE) は、必要なコンポーネントの役割を作成して起動し、引き受けます。

Generic Executor はシステム起動時に起動し、特定の TCP ポートでリスンします。**MultiController** のようなコンポーネントが起動する必要がある場合、**CA Mediation Manager Control Utility** (cammCtrl) は **Generic Executor** に **MultiController XML** 設定ファイルを送信します。**Generic Executor** は、このデータを受信すると、設定ファイルの情報を使用して **MultiController** コンポーネントを識別し、起動します。

Delivery Service

Engine はそのポーリングサイクルを完了すると、1 つ以上の **CA Mediation Manager** 標準の XML ドキュメントをキューディレクトリに生成します。**Delivery Service** はキューディレクトリを単独で監視し、1 つ以上のローカル **Presenter** サブコンポーネントまたはリモート **Presenter** サブコンポーネントにデータを配信します。

サブコンポーネントが使用不可能な場合、リモートサブコンポーネントが使用可能になるまで、**Delivery Service** はキューを処理しません。

Engine

Engine は CA Mediation Manager 内のメインのスレッドポーリングエンジンです。Engine はアクティブモードまたはスタンバイモードのいずれかで展開できます。Engine は以下のアクションを実行します。

- XML、CSV、Telnet、SSH などを使用してデバイスから情報を収集し、CA Mediation Manager 標準の XML ドキュメントヘデータを処理します。
- Delivery Service によって処理するために、キューに CA Mediation Manager 標準の XML ドキュメントを展開します。

Presenter

Presenter サブコンポーネントは、以下のアクションを実行するスレッドプレゼンテーションエンジンです。

- Engine から CA Mediation Manager 標準の XML ドキュメントを受信します。
- CSV、XML、SNMP、DDI などの必要な出力形式にデータをフォーマットします。

第 2 章: CA Mediation Manager のインストール

注: この章で示される情報は CA Mediation Manager のみに適用されます。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[システム要件](#) (P. 13)

[前提条件](#) (P. 14)

[インストール前のセットアップ](#) (P. 15)

[CA Mediation Manager のインストール](#) (P. 17)

[サービスの開始と停止](#) (P. 20)

[CA Mediation Manager のアンインストール](#) (P. 22)

[CA Mediation Manager のアップグレード](#) (P. 24)

システム要件

CA Mediation Manager は Java Runtime Environment (JRE) バージョン 1.7 以降を必要とします。

以下の表では、サポートされている各オペレーティングシステムについて、必要なハードウェアの最低要件を説明します。

オペレーティングシステム	アーキテクチャ	CPU	メモリ	ディスク
Solaris 9 または 10	SPARC (64 ビット)	1 x 1.4 GHz	4 GB	18 GB
Linux	x86 (64 ビット)	1 x 2 GHz	4 GB	18 GB
Windows 2003	x86 (64 ビット)	1 x 2 GHz	4 GB	18 GB
Windows 2008	x86 (64 ビット)	1 x 2 GHz	4 GB	18 GB

注: JRE とオペレーティング システム アーキテクチャの整合性を保持します。たとえば、64 ビットのオペレーティング システムでは、**CA Mediation Manager** をインストールし実行するために使用する JRE も 64 ビットである必要があります。JRE の最新のバージョンを使用することを推奨します。これは Java ダウンロード [サイト](#) から取得できます。

前提条件

インストールの前提条件は以下のとおりです。

- Windows システム上の管理者権限
- Java Runtime Environment (JRE) バージョン 1.7 以降

Java ダウンロード [サイト](#) からすべてのプラットフォーム用の Java をダウンロードできます。

インストール前のセットアップ

Java をインストールした後、CA Mediation Manager プロセスで使用するユーザ ID でサーバにログインします。このユーザ ID は、このドキュメントでは CAMM_USER です。

次の手順に従ってください：

1. オペレーティング システムに対して JAVA_HOME 環境変数を設定します。
 - UNIX システム (Solaris 8 または 9、および Linux)

```
# JAVA_HOME="/export/home/jre7"
# export JAVA_HOME
```
 - Windows システム (Windows 2003 および Windows 2008)
2. [System Properties] ダイアログ ボックスを開きます。
3. [Advanced] タブを選択し、[Environment Variables] をクリックします。
[Environment Variables] ダイアログ ボックスが表示されます。
4. [New System Variable] ページを表示するには、[Systems Variables] リスト内の [New] をクリックします。
 - a. JAVA_HOME という大文字と小文字が区別される変数を追加します。この変数名を大文字のみにし、インストールされた JRE の正しいパス値を入力します。
 - b. [OK] をクリックして、システム変数リストへ新しい JAVA_HOME 環境変数を追加します。

注: JAVA_HOME 環境変数が存在する場合は、この変数が適切なパスを参照することを確認します。必要な場合、パス ステートメントを変更します。

5. Java バージョンを指定します。
 - UNIX システム (Solaris または Linux)

```
# $JAVA_HOME/bin/java -version
java version "1.7.0_09"
Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.7.0_09-b04)
Java HotSpot(TM) Server VM (build 17.1-b03, mixed mode)
```
 - Windows システム (Windows 2003 および Windows 2008)

コマンドプロンプトを開き、以下のコマンドを実行します。

```
C:¥>%JAVA_HOME%¥bin¥java -version
```

```
java version "1.7.0_09"
```

```
Java (TM) SE Runtime Environment (build 1.7.0_09-b06)
```

```
Java HotSpot(TM) Server VM (build 17.0-b16, mixed mode)
```

Java ホーム パスが設定されます。

CA Mediation Manager のインストール

ここでは、CA Mediation Manager アプリケーションを Windows または UNIX システムにインストールする手順について説明します。

次の手順に従ってください：

1. オペレーティング システムに基づいて対応するコマンドで CA Mediation Manager のインストールを開始します。
 - UNIX システム

```
# $JAVA_HOME/bin/java -jar CAMM-Installer-2.2.2.jar
```
 - Windows システム
 - a. インストール CD ROM を挿入し、Windows エクスプローラを開きます。
 - b. 実行可能 JAR ファイル CAMM-Installer-2.2.2.jar を見つけてダブルクリックします。
2. [Welcome] ダイアログ ボックスで [Next] をクリックします。
3. 重要な情報を読み、[Next] をクリックします。
4. 使用許諾契約を確認して [Next] をクリックします。
5. CA Mediation Manager ソフトウェアをインストールするターゲット パスを指定します。ほかに、[Choose] をクリックしてインストール場所を参照する方法もあります。

注: Windows システムにインストールする場合、デフォルト インストール ディレクトリは以下のとおりです。

```
C:\Program Files\CA\CAMM
```

注: Unix システム (Linux または Solaris) にインストールする場合、デフォルトインストール ディレクトリは /opt/CA/CAMM です。
6. 新規インストールの場合は [Typical]、既存のインストールをアップグレードする場合は [Upgrade] を選択します。
7. 1 つ以上の必要なインストール パッケージを選択します。
 - MultiController
 - LocalController
8. 以下の CA Mediation Manager 基本パラメータを設定します。

User ID

CA Mediation Manager のインストール用の **Generic Executor** のユーザ ID を指定します。ユーザ ID は **CAMM_USER** で、デフォルトで現在のユーザ ID になります。

注: CA Mediation Manager をインストールするシステムに存在する有効なユーザ ID を入力する必要があります。有効なユーザ ID を指定しないと、エラーが発生し、インストールは失敗します。

Port

Generic Executor がリスンするポートを指定します。

デフォルト: TCP ポート 29560

9. (オプション) プライマリ **MultiController** の以下のパラメータを設定します。

注: このインストールが最初のインストールである場合は、プライマリ **MultiController** を設定します。後のダイアログボックスでセカンダリ **MultiController** を設定できます。

MC IP Address

この **MultiController** の IP アドレスを指定します。

MC Port

MultiController が動作するポートを指定します。

デフォルト: 29599

MC Type

この **MultiController** がプライマリかセカンダリかを指定します。

Failover Threshold

秒単位で、ハートビートメッセージを受信しない経過時間を指定し、**LocalController** の障害を通知します。このしきい値に達すると、**MultiController** はスタンバイ **LocalController** をアクティブにします。

Will the other MC exist in the cluster?

別の **MultiController** がクラスタ内に存在するか存在する可能性があることを示します。

10. (オプション) 同じクラスタ内の別の **MultiController** の以下のパラメータを設定します。

The Other MC IP

プライマリ **MultiController** をインストールし設定した場合、セカンダリ **MultiController** の IP アドレスを指定します。

前の手順でセカンダリ **MultiController** をインストールした場合、この値はプライマリ **MultiController** の IP アドレスです。

このサーバがバックアップサーバである場合は、セカンダリ **MultiController** を別のホストサーバにインストールします。

11. Web 認証用の以下のパラメータを設定します。

User

CA Mediation Manager Web マネージャの役割を担うユーザのログイン名を指定します。

デフォルト : Admin

Password

CA Mediation Manager Web マネージャ管理者アカウント用のログインパスワードを指定します。

12. (オプション) **LocalController** の以下のパラメータを設定します。

Engine および **Presenter** のサブコンポーネントが存在する任意のサーバ上に少なくとも 1 つの **LocalController** が必要です。

LC IP

LocalController の IP アドレスを指定します。

LC Port

この **LocalController** が動作するポートを指定します。

デフォルト : 29598

LC Type

LocalController がアクティブかスタンバイかを指定します。

Failover Threshold

ハートビートメッセージを受信せずに経過した時間を秒単位で指定します。これは、サブコンポーネントの障害を通知します。しきい値に達すると、**LocalController** は **Engine**、**Presenter**、または両方を再起動します。

13. インストールのサマリを確認して [Install] をクリックします。

14. [Done] をクリックします。

インストールは終了です。

15. **\$CAMM_HOME** に移動し、**version.xml** ファイル内のインストーラ情報を確認します。 **version.xml** ファイルの内容の形式は以下のとおりです。

```
<?xml version="1.0" ?>
```

```
<Camm-Version>
  <Current>
    <Version><2.2.2>/Version>
    <Revision><Installer revision number></Revision>
  </Current>
</Camm-Version>
```

16. アプリケーションを起動するために [Start] をクリックします。

CA Mediation Manager アプリケーションが起動します。

サービスの開始と停止

以下の情報は、UNIX および Windows の CA Mediation Manager でのサービスの開始および停止の説明です。

UNIX

startall/stopall スクリプトを使用して、CA Mediation Manager を起動または停止できます。CA Mediation Manager がシステムの起動時に自動的に実行され、システムのシャットダウン時に自動的に停止するように、別のスクリプト init.camm が UNIX ホスト init スクリプトにインストールされます。

init スクリプトをインストールするには、Camm ホームディレクトリで *root* または *sudo su* として以下のコマンドを実行します。

```
shell# tools/init.camm.install
```

CA Mediation Manager は、システムの起動時に自動的に起動し、システムのシャットダウン時に自動的に停止します。

コマンド init.camm.uninstall はこの設定を削除します。

```
shell# tools/init.camm.uninstall
```

Windows

Windows で CA Mediation Manager インストール中に、Generic Executor および Web コンポーネントは Windows サービスとして登録されます。サービス名は、CAMM-GE-{user}-{port} および CAMM-tomcat7-8880 です。

デフォルトでは、これらのサービスは手動で開始されます。Linux と同様、Windows で、CA Mediation Manager がシステムの起動時に自動的に起動し、システムのシャットダウン時に自動的に停止するように、`init.camm.install.bat` を実行できます。

```
C:/CAMM/tools/init.camm.install.bat
```

コマンド `init.camm.uninstall.bat` はこの設定を削除します。

```
C:/CAMM/tools/init.camm.uninstall.bat
```

以下の図では、サービスを開始および停止するプロセスフローを示します。



CA Mediation Manager のアンインストール

以下の手順では、CA Mediation Manager ソフトウェアをアンインストールする方法について説明します。

次の手順に従ってください：

1. （オプション）以下のコマンドを使用して、CA Mediation Manager クラスタを停止します。

- Windows システム：

```
%CMM_HOME%\tools\stopall.bat
```

- UNIX システム：

```
$CMM_HOME/tools/stopall
```

2. （オプション）CA Mediation Manager コンポーネントがすべて停止するまで待機します。

注：アンインストーラは CA Mediation Manager の削除に進む前に、CA Mediation Manager を停止します。

3. 以下のコマンドを実行します。

- Windows システム：

```
"%JAVA_HOME%\bin\java" -jar
```

```
%CMM_HOME%\_CMM_installation\uninstaller.jar
```

- UNIX システム：

```
"$JAVA_HOME/bin/java" -jar
```

```
$CMM_HOME/_CMM_installation/uninstaller.jar
```

[Uninstall] ダイアログ ボックスが表示されます。

4. [Uninstall] をクリックします。

アンインストーラは CA Mediation Manager を停止し、削除プロセスを開始します。削除プロセスが完了すると、[Uninstall Complete] ウィンドウが表示されます。

5. [Done] をクリックします。

CA Mediation Manager がアンインストールされます。

CA Mediation Manager のアップグレード

製品の最新リリースが必要な場合、CA Mediation Manager をアップグレードします。

次の手順に従ってください：

1. オペレーティング システムに基づいてそれぞれのコマンドで CA Mediation Manager のインストールを開始します。
 - UNIX システム

```
# $JAVA_HOME/bin/java -jar CAMM-Installer-2.2.2.jar
```
 - Windows システム
 - a. インストール CD ROM を挿入し、Windows エクスプローラを開きます。
 - b. 実行可能 JAR ファイル CAMM-Installer-2.2.2.jar を見つけてダブルクリックします。
2. [Welcome] ダイアログ ボックスで [Next] をクリックします。
3. 重要な情報を読み、[Next] をクリックします。
4. 使用許諾契約を確認して [Next] をクリックします。
5. CA Mediation Manager ソフトウェアをインストールするターゲット パスを指定します。ほかに、[Choose] をクリックしてインストール場所を参照する方法もあります。

注：

- Windows システムにインストールする場合、デフォルトインストールディレクトリは C:\Program Files\CA\CAMM です。
 - Unix システム (Linux または Solaris) にインストールする場合、デフォルトインストールディレクトリは /opt/CA/CAMM です。
6. [Upgrade] を選択し、[Next] をクリックします。
 7. アップグレードサマリを確認し、[Install] をクリックしてアップグレードプロセスを開始します。
 8. [Done] をクリックします。

注：インストーラが終了する前に、CA Mediation Manager が起動します。

インストーラは CA Mediation Manager を停止し、アップグレードプロセスを開始します。既存のファイルはすべて上書きされます。

以下のフォルダ内のファイルは保持されます。

- \$CMM_INSTALL_DIR/MC/repository
- \$CMM_INSTALL_DIR/Queue
- \$CMM_INSTALL_DIR/output
- \$CMM_INSTALL_DIR/COMPONENTS

注: CMM_INSTALL_DIR/tools フォルダ内のカスタム スクリプトをバックアップすることをお勧めします。

CA Mediation Manager がアップグレードされます。

9. \$CMM_HOME に移動し、`version.xml` ファイル内のアップグレードされたインストーラ情報を確認します。`version.xml` ファイルの内容の形式は以下のとおりです。

```
<?xml version="1.0" ?>
<CMM-Version>
  <Current>
    <Version><2.2.2>/Version>
    <Revision><Installer revision number></Revision>
  </Current>
  <History>
    <Build>
      <Version>2.1.4 or 2.1.3</Version>
      <Revision>Installer revision number</Revision>
    </Build>
  </History>
</CMM-Version>
```


第 3 章: デバイス パックのインストール

デバイス パックは、XML 設定、ServingXml/Groovy、および XQuery ファイルのセットです。デバイス パックは、特定のデバイスのセットからデータを取り出し、CA eHealth、CA Spectrum、CA Infrastructure Management などのノース バウンド ゲートウェイが理解できる形式に変換します。

注: この章で示される情報は CA Mediation Manager のみに適用されます。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[デバイス パックのインストール](#) (P. 28)

[CA eHealth 認証のインストール](#) (P. 30)

[デバイス パックのアンインストール](#) (P. 32)

[デバイス パックのアップグレード](#) (P. 33)

デバイス パックのインストール

CA Mediation Manager Web UI によってデバイス パックをインストールできます。

次の手順に従ってください:

1. CA Mediation Manager Web UI を起動します。

`http://<PrimaryMCMachineIP>:<web-port>/tim-web/index.htm`

<web-port> は CA Mediation Manager のインストール時に設定されたポート番号、<PrimaryMCMachine IP> はプライマリ MultiController システムの IP アドレス/ホスト名です。

2. ログイン認証情報を入力します。
3. ダッシュボード内の CA Mediation Manager クラスター ノードからデバイス パックを選択します。
4. [Install] を選択します。
[Deployment Selection] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. [Destination] ドロップダウンからデバイス パックをインストールするインストール先 LocalController を選択します。
 - インストールするデバイス パックが CA Mediation Manager の現在のリリースに付属しているデバイス パック リポジトリにある場合は、[MultiController Repository] チェック ボックスをオンにします。
 - インストールするデバイス パックがデバイス パック リポジトリになく、ローカルシステムに存在する場合は、[Browse] ボタンを使用してデバイス パックを見つけます。
6. インストールする ENGINE_<devicepack>.zip ファイルまたは PRESENTER_<devicepack>.zip ファイルを選択します。
7. [Next] を選択します。
選択された Engine または Presenter のグローバル外部変数が表示されます。
8. インストールされるデバイス パックに固有の設定パラメータを指定します。

注: 特定のデバイス パック設定ファイルの詳細については、Web UI から [ReadMe] を選択して対応する Engine の Readme ファイルを参照してください。

9. [Finish] を選択します。
デバイス パックがインストールされます。

CA eHealth 認証のインストール

CA eHealth で使用する認証をインストールします。

次の手順に従ってください：

1. 以下の前提条件を満たしていることを確認します。

- CA eHealth をインストールするために使用されたのと同じユーザ認証情報を使用して、CA eHealth サーバに LocalController をインストールする必要があります。
- CA eHealth サーバで実行されている LocalController に PRESENTER_<devicepack> コンポーネントをインストールする必要があります。
- \$NH_HOME を CA eHealth インストールディレクトリに設定する必要があります。確認するために、以下のコマンドを実行します。

```
echo $NH_HOME
```

2. \$CMM_HOME/MC/eHealthCerts/CERT_<devicepack>.zip ファイルを CA eHealth サーバの \$NH_HOME ディレクトリにコピーします。

3. コマンドプロンプトを開き、「bash」と入力し、以下のコマンドを実行します。

```
unzip CERT_<devicepack>.zip
```

4. \$NH_HOME/modules/<devicepack>/cmm.env スクリプトを変更して、JRE へのパス詳細および CMM インストールフォルダを指定します。

5. \$CMM_HOME/output/PRESENTER_<devicepack> から \$NH_HOME/modules/<devicepack>/ddiData へのソフトリンクを作成します。

6. \$NH_HOME/db/data/variable usr_<devicepack> ファイルの内容を \$NH_HOME/db/data/variable usr に追加します。

- 内容を結合する前に、重複した変数が両方のファイルにあるかどうかを確認します。
 - 重複した変数が見つかった場合は、重複した変数を削除し、最終的な \$NH_HOME/db/data/variable usr ファイルを保存します。
- variable usr ファイル内の最終変数を確認し、変数をマップします。
- variable usr ファイルおよび elementTypeVariable usr ファイル内の変数 ID のマッピングを確認します。

- elementTypeVariable.usr ファイルのマップされた変数 ID が variable.usr ファイルにあることを確認します。

7. \$NH_HOME/db/data/elementTypeVariable.usr_<devicepack> ファイルの内容を \$NH_HOME/db/data/elementTypeVariable.usr に追加します。

8. 以下のコマンドを使用して、CA eHealth サーバを停止します。

```
nhServer stop
```

9. 以下のコマンドを使用して、ソフトウェア アップグレード用のデータベース スキーマを変換します。

```
nhConvertDb
```

データベース変換が正常に実行されるまで待機します。

10. 以下のコマンドを使用して、CA eHealth サーバを起動します。

```
nhServer start
```

11. 特定のポーリング要件に合わせて、\$NH_HOME/modules/<devicepack>/modules.defaults.init を変更します。

12. \$NH_HOME/modules/camm<devicepackname> ディレクトリに移動し、以下のコマンドを実行して新しいエレメントを検出します。

```
./cammpoll -c -j -l
```

CA eHealth は、自動的に cammpoll を呼び出して、エレメントをポーリングします。

[Manage Resources] - [Groups] - [<devicepack>] にある [CA eHealth OneClick] にエレメントが表示されると、cammpoll は成功です。

注: cammpoll は手動で 1 回のみ実行します。cammpoll コマンドを手動で実行した後の状況を記録してください。これはエラー状態を表すためです。通常の動作では、CA eHealth は cammpoll コマンドを自動的に実行します。

デバイス パックのアンインストール

デバイス パックは、Web UI を使用して CA Mediation Manager から削除できます。Engine および Presenter の両方を削除できます。

次の手順に従ってください:

1. Web UI から、アンインストールするコンポーネント（Engine または Presenter）を選択します。
2. [Remove] をクリックします。
[Remove Sub-Components] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [Yes] をクリックします。

デバイス パックがアンインストールされます。

デバイス パックのアップグレード

CA Mediation Manager Web UI を使用して、デバイス パックをアップグレードできます。

次の手順に従ってください：

1. Web UI から [Upgrade] を選択します。
[Deployment Selection] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. アップグレードするコンポーネント (Engine または Presenter) を選択します。
3. [Destination] ドロップダウンから、デバイス パックをアップグレードする宛先 LocalController を選択します。
 - アップグレードするデバイス パックが CA Mediation Manager の現在のリリースに付属しているデバイス パック リポジトリにある場合は、[MultiController Repository] チェック ボックスをオンにします。
 - アップグレードするデバイス パックがデバイス パック リポジトリになく、ローカルシステムに存在する場合は、[Browse] ボタンを使用してデバイス パックを見つけます。
4. アップグレードする ENGINE_<devicepack>.zip ファイルを選択します。
5. [Next] を選択します。
選択された Engine または Presenter のグローバル外部変数が表示されます。
6. アップグレードするデバイス パックに固有の設定パラメータを指定します。
注: 特定のデバイス パック設定ファイルの詳細については、Web UI から [ReadMe] を選択して対応する Engine の Readme ファイルを参照してください。
7. [Finish] を選択します。
デバイス パックがアップグレードされます。

第 4 章: CA Mediation Manager for Infrastructure Management 2.0、リリース 2.2.2 用デバイス パックのインストール、アンインストール、アップグレード

Data Aggregator は要素管理システム (EMS) をサポートします。このデバイス パック統合は、インベントリおよびパフォーマンスのデータ用の非 SNMP デバイスをポーリングするように設計されています。Data Aggregator/EMS デバイス パックは、Data Aggregator および CA Performance Center と連携してパフォーマンス レポートを提供します。

注: この章で示される情報は CA Mediation Manager for Infrastructure Management 2.0 のみに適用されます。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[前提条件](#) (P. 35)

[アップグレードに関する考慮事項](#) (P. 36)

[デバイス パックのインストールまたはアップグレード](#) (P. 36)

[デバイス パックのアンインストール](#) (P. 39)

前提条件

デバイス パックをインストールする前に以下の前提条件を満たす必要があります。

- FTP または SFTP をデバイス サーバにインストールする
- CA Performance Center および Data Aggregator コンポーネントをインストールする

注: CA Performance Center および Data Aggregator のインストールの詳細については、それぞれのインストール ガイドを参照してください。

アップグレードに関する考慮事項

この製品統合では、いくつかのアップグレードを組み合わせることができません。

Data Aggregator または CA Performance Center のみのアップグレード

アップグレードをインストールする前に特別な手順はありません。
EMS 統合プロファイルは、アップグレード中に実行を続行できます。

Data Aggregator または CA Performance Center への新しいデバイス パックの追加

新しいデバイス パックは、Data Aggregator または CA Performance Center の現在のバージョンまたはアップグレードされたバージョンに追加できます。既存の EMS 統合プロファイルは、新しいデバイス パックをインストールする間、実行を続行できます。

EMS デバイス パックのみのアップグレード

既存の EMS デバイス パックの EMS プロファイルは、これらのデバイス パックへのアップグレードが完了する前に停止する必要があります。インストーラは、停止する EMS プロファイルについてユーザーに通知します。

デバイス パックのインストールまたはアップグレード

デバイス パックのインストール プロセスはコンソール モードのみをサポートします。1 回のインストールで、複数のデバイス パックおよび複数のベンダー認定をインストールできます。

注: 一部の内容は CA Mediation Manager の旧リリースには適用されません。

次の手順に従ってください:

1. CA Performance Center がインストールされているホストにログインします。

注: このタスクを実行するには、管理者としてログインする必要があります。

2. 以下のファイルまたはフォルダを取得するには、`ems_installer.zip` ファイルを解凍します。

`core`

このフォルダには重要なライブラリおよびプラグインが含まれます。

`devicepacks`

このフォルダにはデバイス パックが含まれます。

`conf.properties`

この設定ファイルはインストールに使用されます。

`ems-installer-bin.jar`

このファイルはインストーラ ファイルです。

3. インストールを開始するには、`java -jar ems-installer-bin.jar` を実行します。
4. 繰り返し **Enter** キーを押して使用許諾契約書をスクロールします。使用許諾契約書の最後で「**yes**」と入力し、**Enter** キーを押して使用許諾契約書に同意します。
5. CA Performance Center ユーザ名、パスワード、および HTTP ポート番号を指定します。

デフォルト : `admin, admin, 8181`

6. Data Aggregator IP アドレスを指定します。

注: Data Aggregator がデータ ソースとして追加されていない場合、この IP アドレスを指定します。指定しない場合、EMS インストーラは Data Aggregator 情報を検索します。

7. Data Aggregator HTTP ポートを指定するか、または Enter キーを押してデフォルト ポートをそのまま使用します。
8. 以下のいずれかのオプションを入力し、Enter キーを押します。
 - 認証を Data Aggregator にインストールするには、「1」を入力します。
 - デバイス パックを Data Collector にインストールするには、「2」を入力します。
 - ビューを CA Performance Center にインストールするには、「3」を入力します。
 - 3つのオプションをすべてインストールするには、「1,2,3」を入力します。カンマを使用して、オプションを区切ります。
9. Data Aggregator にインストールする認証を選択します。複数の認証をインストールするには、カンマでオプションを区切ります。たとえば、オプション 1、3、4 をインストールするには、「1,3,4」と入力して Enter キーを押します。
10. デバイス パックをインストールまたはアップグレードする Data Collector をリストから選択します。
11. Data Collector HTTP ポートを指定するか、または Enter キーを押してデフォルト ポートをそのまま使用します。
12. Data Collector にインストールする 1 つ以上のデバイス パックを選択します。複数のデバイス パックをインストールするには、カンマでオプションを区切ります。
13. インストールするデバイス パック ビューを選択します。複数のオプションをインストールするには、カンマでオプションを区切ります。

14. インストーラが通知した EMS プロファイルを停止します（アップグレードにのみ適用）。インストール後に再起動できるように、プロファイルの名前を書き留めます。

注: Data Aggregator 管理ユーザ インターフェースを使用して、EMS プロファイルを停止および再起動します。

15. インストール前のサマリを確認して、インストールを続行し開始する場合は「**yes**」と入力し、終了する場合は「**no**」と入力します。

インストーラが実行されます。選択されたデバイス パックは、以下の場所にインストールされます。

- ベンダー認定 :

`$DATA_AGGREGATOR/opt/IMDataAggregator/apache-karaf-2.3.0/deploy`

- デバイス パック :

`$DATA_COLLECTOR/opt/IMDataAggregator/apache-karaf-2.3.0/deploy`

- ライブラリ :

`$DATA_COLLECTOR/opt/IMDataAggregator/apache-karaf-2.3.0/MediationCenter/lib`

- プラグイン :

`$DATA_COLLECTOR/opt/IMDataAggregator/apache-karaf-2.3.0/MediationCenter/plugins`

注: デバイス パックがインストールされた後、ポーリングを開始するために EMS 統合プロファイルを作成します。アップグレードする場合は、以前に停止したプロファイルを再起動します。

デバイス パックのアンインストール

デバイスのデータをポーリングしない場合、デバイス パックをアンインストールすることができます。以下の手順に従うと、デバイス パックはユーザのシステムから完全に削除されます。

注: このタスクを実行するには、管理者としてログインする必要があります。

次の手順に従ってください:

1. [EMS Integration Profiles] リストからアンインストールを計画している EMS 統合プロファイルを選択し削除します。
2. 以下から対応するデバイス パック jar ファイルを削除します。
`$DATA_COLLECTOR/apache-karaf-2.1.3/deploy` フォルダ
3. 以下から対応するベンダー認定 jar ファイルを削除します。

`$DATA_AGGREGATOR/apache-karaf-2.1.3/deploy`

注: デバイス パックを再インストールするには、再度 EMS インストーラを実行します。